

○14番（川又照雄議員） おはようございます。14番川又照雄です。ただいま議長より発言のお許しをいただきましたので、通告どおり一般質問をさせていただきます。

7月29日に行われました常陸太田市議会議員選挙、一般選挙におきまして、特に低投票率、少数激戦の我々立候補者にとりましては、大変厳しい選挙戦になりました。そんな中でも、おかげさまで当選することができました。心より感謝を申し上げます。

選挙戦を通して、改めて市民目線で市民一人ひとりの負託に応えるべく、初心に帰り、今期4年、当市を含めた茨城県の県北振興に精いっぱい努力したいと考えております。我が国、特に地方においては、いまだ住民自治権や自治意識は未熟で発展途上にあり、その基盤はまだ確立していないと言われております。

そんな中であって、新たに常陸太田市議会を構成する18名の一人として、今後多くの議員と一緒にあって、二元代表制意識を高めつつ、議会のあるべき姿を求める努力をしてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いを申し上げます。

これからも継続して、当市においては少子・高齢化の中、5年、10年先の将来を見据えた安全安心の総合防災や減災対策、また、さらなる医療、福祉、子育て支援の充実拡大も求められており、産業振興での雇用創出問題や魅力あるにぎわいや集客可能な商業施設等の整備等にも取り組まねばなりません。少子化・人口減少時代の中、これらを抑制するために、人、もの、金の地方創生を生み出しながら、具体的には地域コミュニティの全地域立ち上げと山積する課題解消に向けた努力をしていかねばなりません。私自身、誰のための地方自治なのかを常に問いかけながら、さらに率先して市民にも利他主義を求めつつ、その啓蒙にも努め、議員活動、議会活動に努力してまいりたいと思っております。

それでは、一般質問に入ります。

最初に、交流人口拡大について質問いたします。

（1）として、受け入れ態勢の整備について。

来年の開催に向けた準備を進めている茨城国体についてお尋ねいたします。

1点目、茨城国体の開催時における本市のおもてなし体制についてお尋ねいたします。

次に（2）として、屋外公衆トイレについてお尋ねいたします。

今回、選挙期間中に利用させていただきましたが、屋外トイレの管理状態に問題ありと感じました。

ここで1点目、屋外トイレの現況の数についてお尋ねいたします。

2点目は、その維持管理について。誰がどの場所を管理しているのかお尋ねいたします。

3点目は、今後の屋外公衆トイレの維持管理の展開についてお尋ねをいたします。

最後に大きな項目2として、災害についてお尋ねいたします。

異常気象による大雨、暴風。最近でも、西日本豪雨土砂災害や河川の氾濫等、大災害が昨日の台風21号なども含めて、日本各地に次々と起こっております。住民の生命財産を守る防災減災は避難も含めて最優先課題であります。

合併後、当市は茨城県最大の面積を擁する市となりました。その点、他市に比べても自然災害

の危険が多いと思われます。ここで、当市の崖崩れや危険箇所についてお尋ねいたします。

この改善改修は、国や県が行う案件ではありますが、地方自治体からの詳細にわたる強い強い要望が必要と考えます。

ここで1点目、これまでの主な危険箇所改善改修についてお尋ねをいたします。

2点目として、市内岡田町台から小目町高井までの台地の危険箇所についてお尋ねをいたします。

以上、ご答弁をよろしくお願いを申し上げます。以上で1回目の質問を終わります。

○成井小太郎議長 答弁を求めます。企画部長。

〔綿引誠二企画部長 登壇〕

○綿引誠二企画部長 交流人口の拡大についてのご質問のうち、受け入れ態勢の整備についての茨城国体開催時における本市のおもてなし体制についてのご質問にお答えいたします。

国体は国内最大のスポーツの大会でありまして、開催地には選手、監督を初め、競技役員、一般観覧者など、全国から多くの方々が訪れまして、本市をPRする絶好の機会であることから、心を込めたおもてなしで再度の来訪につながるよう市民の皆様のご協力をいただきながら、現在準備を進めているところでございます。

今年度につきましては、ご案内のとおり、国体のリハーサル大会として、第70回全日本総合女子ソフトボール選手権大会が今月15日から、本市において山吹運動公園及び白羽スポーツ広場を会場として開催されます。全国から訪れるたくさんの方々をおもてなしするため、全市を挙げて花いっぱい運動に取り組んでおりまして、現在、市内各町会及び小中学校などの皆様のご協力をいただきながら、3,000個に及ぶプランターで花の育成を進めているところでございます。

大会期間中は競技会場や主要道路に設置をいたしまして、花いっぱいの環境でお迎えするとともに、さらに小中学校の皆様のご協力をいただき作成いたしました、各県チームを応援する手作り応援のぼり旗や歓迎のぼり旗の装飾も予定しておりまして、おもてなしの機運の醸成を図ってまいりたいと考えております。

また、本市のPRなどにつきましては、JR常陸太田駅、道の駅ひたちおおた及び競技会場内に案内所を設けまして、国体の情報や本市の観光情報等を発信を行うとともに、競技会場におきましては、本市の特産品である梨、ブドウを配布するおもてなしコーナーやこれら特産品を購入することができる売店コーナーなどを設置することとしております。

最後に、この大会の運営に当たりましては、大会実施本部を設置いたしまして、市民ボランティア延べ115名、市職員延べ630名の体制で運営を行うこととしております。大会終了後には、これら大会運営の検証を行いまして課題を抽出、改善を図りながら、来年の茨城国体の成功に向け、万全の態勢で臨めるよう努めてまいりたいと考えております。

○成井小太郎議長 商工観光部長。

〔小瀧孝男商工観光部長 登壇〕

○小瀧孝男商工観光部長 屋外公衆トイレについてのご質問にお答えいたします。

まず1点目の屋外公衆トイレの現況数でございますが、市が公園等に設置しております屋外公

衆トイレは、地区別に申し上げますと、太田地区に8カ所、金砂郷地区に10カ所、水府地区に7カ所、里美地区に2カ所設置しており、市内に計27カ所屋外公衆トイレを設置してございます。

次に、2点目のその維持管理についてのご質問でございますが、市内に設置しております屋外公衆トイレは商工観光部、農政部、建設部において管理しております。

商工観光部では、西山公園駐車場、西山の里駐車場、十国峠公園、瑞龍山駐車場、大里丸山公園、大里森林公園、西金砂ポケットパーク、西金砂観光トイレ、金砂郷地区公園、宮の郷工業団地公園、畑中、下武生、持方、東金砂、竜神峡湖畔内3カ所の17カ所を管理しております。

また、農政部におきましては、ふるさとの森、岩手親沢池親水公園、松平親水公園、玉造愛宕の杜親水公園、郡戸善光寺親水公園、徳田町北口公園の6カ所を管理しております。

建設部につきましては、金井町児童公園、鯨ヶ丘ふれあい広場、駅南第2児童公園、小菅ロードパークの4カ所の管理となっております。

なお、商工観光部での維持管理について申し上げますと、観光客等により利用の多い西山の里駐車場トイレは指定管理者である日立ライフにより、毎日トイレ清掃やトイレットペーパーの補充を含めた維持管理を行っております。その他の屋外公衆トイレにつきましては、市のシルバー人材センターや地元町会等に委託しまして、トイレ清掃やトイレットペーパーの補充、トイレ前の除草など週1回から週4回程度、利用状況に応じて行っております。

また、浄化槽を設置しているトイレにつきましては、専門業者に委託しまして、浄化槽の定期点検とともに、浄化槽汚泥処理を行っており、汲み取り式トイレにつきましては、年1回程度し尿処理業務を専門業者に委託しているところであります。

3点目の今後の維持管理の展開についてでございますが、利用される方に気持ちよく使用していただけるよう、引き続き清掃等の維持管理に努めてまいりたいと考えております。

なお、今後の老朽化したトイレ等につきましては、利用状況を鑑みまして周辺トイレの代替等の検討を含めた修繕計画を図ってまいりたいと考えております。

○成井小太郎議長 建設部長。

〔真中剛建設部長 登壇〕

○真中剛建設部長 崖崩れの危険箇所についての2点のご質問にお答えいたします。

まず、1点目のこれまでの主な危険箇所、改善、改修についてでございます。

市内には、国土交通省の調査要領等に基づきまして県で調査しました結果、急傾斜地の勾配が30度以上で高低差が5メートル以上などとした、いわゆる急傾斜地としての危険箇所が市内全体で約380カ所確認されております。このうち、斜面及びのり上、のり下の一定の範囲内に保護すべき人家が5軒以上存在し、かつ災害から住民の生命を保護するため、崩壊を防止する措置が必要と認められる箇所について、「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」に基づきまして、茨城県がさらに詳細な調査を行い、急傾斜地崩壊危険区域として指定し、対策工事を実施した箇所が14カ所となっております。

県では現在、水府地区の棚谷町日向前において対策事業を実施しており、その内容としまして

は、崩落土砂防止工事として、ロープネット工を施工しているところでございます。平成33年度末を目標に事業を進めているところでございます。

2点目の岡田町台から小目町高井までの危険箇所についてでございますが、この箇所は危険箇所としての調査結果は出ておりますが、当面のり面等の変位などが報告されておきませんが、引き続き現場状況の確認などをしながら、対策等が必要な場合は、県に調査、対策等の要望、協議をしてみたいと考えております。

○成井小太郎議長 川又議員。

〔14番 川又照雄議員 質問者席へ〕

○14番(川又照雄議員) ご答弁ありがとうございました。最初の交流人口拡大について、(1)受け入れ態勢、茨城国体の開催時における本市のおもてなしについては理解をいたしました。地域振興を図る意味でも、さらなる検証を重ね、万全を期するよう期待も込めて要望いたします。

その(2)のほうで、屋外トイレについて再質問いたします。

屋外公衆トイレの数は27カ所、このチェックはどのようになっているのかお尋ねいたします。

○成井小太郎議長 答弁を求めます。商工観光部長。

○小瀧孝男商工観光部長 ただいま答弁で申し上げましたとおり、チェックにつきましては、委託しているシルバー人材センター、もしくは地元自治会の皆さん等におきまして、週1回から週4回の清掃時にチェックしておりまして、し尿とかたまった状態もしくは電灯が切れているとか、そういった場合に連絡をいただきまして修繕を図っているところでございます。

○成井小太郎議長 川又議員。

○14番(川又照雄議員) それで、やはりそのチェックというのは、その報告、どういう状態でありますよって、電気が切れてるとか、ドアの修理が必要だとかという問題よりも、きれいにするための報告というのはありますでしょうかね。

○成井小太郎議長 商工観光部長。

○小瀧孝男商工観光部長 毎週の報告ということは問うておりません。そのつどあった段階で報告を受けるという形になっております。

○成井小太郎議長 川又議員。

○14番(川又照雄議員) 今後の展開の中で、やっぱり、国体という部分があるんで、その点はどのように。これまでのトイレ27カ所を総チェックをして、今後改善とか改修とかいう部分も国体を考えた上での、その点のことはどういうふうを考えているのかお尋ねしたいと思います。

○成井小太郎議長 商工観光部長。

○小瀧孝男商工観光部長 今後、関係部、ただいま申し上げました農政部、建設部と協議しまして検討してみたいと考えております。

○成井小太郎議長 川又議員。

○14番(川又照雄議員) ありがとうございます。よろしくお願ひしたいと思います。

最後の災害については理解いたしております。引き続き確認と危険箇所の改善改修にご努力されますよう要望いたして私の質問を終わります。ありがとうございます。